

藤祐輔(ホンダ栃木)、関拓真(アイツクル)、水間健(ホンダ栃木) 予選敗退 西尾真人(那須ラーゼン) 棄権

【女子】▽JFT第1戦(3・0キロ×8周×24分)
①吉川美穂(ライブガーデン・ピチステンレ) 38分13秒
②岡本菜(白体) 38分13秒
③唐見実世子(弱虫ペダル) 38分13秒
④新川明子(クラウ・ブリッエン) 38分15秒
⑤福全千佳(ライブガーデン・ピチステンレ) 38分15秒
⑥伊藤真菜(同) 38分16秒
⑦村上萌々子(クラウ・ブリッエン) 38分51秒
⑧小田恵利花(ホンダ栃木) 39分50秒
梅山佳子(サイドフックス) 途中棄権

吉川 女子3連覇

JFT開幕戦は吉川美穂(ライブガーデン・ピチステンレ)が3連覇。レース後は昨年引退した針谷千紗(チームマネジヤ)に肩を抱かれ「勝てて良かった。ほっとした」と安堵の表情を見せた。

2月のアジア選手権で3位に入ったが、「気持ち切れて持ち直すが大変だった。去年より緊張した」。しかし味方のアシストもあり好位置を維持すると、最後は庄巻のスプリント力で制した。「すごく良く動いてくれた」とチームメイトへの感謝も欠かさなかった。風格も漂う女王の目



フェミニンで3連覇を果たしたライブガーデン・ピチステンレの吉川

は、既に世界へ向けられている。一番の目標である東京五輪出場を見据え、「もう一度スプリントに磨きをかけていきたい」と力を込めた。

ブリッエン・増田成幸(8位)。チームも敗戦し、「優勝チームは逃げをつぶしてきた。それを崩せなかったのが敗因。あす(19日)も地元レースなので、気持ちを切り替えてやり返したい」。ブリッエン・小野寺玲(持ち味のスプリント力が期待されたが8位)。「集団でいい位置を維持するのが難しかった。増田(成幸)さんがアタックしたときに他チームとの接触を恐れて、ついていけなかった」